

## とりまとめコメント

### 事業名 就職氷河期支援対策専門窓口の設置及びチーム支援の実施

本事業は、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行い、能力開発の機会をこれまで十分に得られなかった就職氷河期世代の不安定就労者をターゲットにして支援するものでありハローワークに専門窓口を設置し、就職から職場定着まで、きめ細かな伴走型支援を実施している。

現在、本事業の効果測定のための指標は正社員就職率のみであり、その点では一定の効果が出ていることが認められる。一方で、就職から6ヶ月後の定着状況については、過去3年で徐々に高まってきてはいるものの、依然として約3割の方が6ヶ月以内に離職に至っており、引き続き課題があると考えられる。

こうした状況や、本事業の目的が不安定就労者の安定的な就職の実現であることを踏まえると、長期アウトカム指標として新たに設定する支援対象者の就職後の定着率について、向上を図っていくべきである。あわせて定着できなかった支援対象者の自己肯定感や就職意識の変化についても本事業の価値や成果として対外的に示す工夫も必要ではないか。

また、現在、人手不足下にある中、支援対象者の定着率の改善を図るためには、職業訓練や職場見学などによりミスマッチを事前に防ぎ、就職後のフォローアップも含めた求職者側に対する取組を行うとともに、就職氷河期世代へのリテラシー向上や定着支援など企業側に対する取組についても充実させていくべきである。

その際、定着できなかった離職者について、企業側へのアプローチが必要なのか、本人に対する支援が必要なのかを分析し、支援方法を検討する必要

があるのではないか。

併せて、ハローワークへ誘導するための広報の強化に加え、支援対象者の個々人の状況に応じて、例えば、精神的なケアが必要な場合には、医療機関、地方自治体やNPO等の福祉的なサービスにつなぐなど、関係機関との連携をより一層強化していくべきである。

さらに、就職氷河期世代の年齢層が年々上がっていく中で、同じような課題を持つ不安定就労者は就職氷河期世代以外にもいると考えられることから、本事業で得られた知見・ノウハウを生かしながら、経済効果の分析も行いつつ、今後、本事業を発展的に展開していくことを検討していくことが求められる。